

## クロスバンドコンタクトと簡易クロスバンドレピーターの実験 (スカイプを使ってクロスバンドコンタクト、更にWiresにリンク)

JJ1SXA 池

**50.240MHzSSB**と**51.44MHzFM**とか**144MHz**や**430MHz**の**FM**等の異なるバンド・モードで直接交信できるようにし、更に発展させて、**Wires**にリンクして、遠距離から(他エリアからも)、クロスバンドレピーターのように別の周波数・モードで**50.240MHzSSB**に**QRV**を可能にする、こんな事を、既設のリモートシャック、**eQSO**ノード局のシステムを利用して実験した結果、**SSB**のノイズで勝手に送信状態になる時があったりするので、まだもう少し対策が必要ですが何とか使えそうです。

パソコンにつながっている**2**台の無線機で、それぞれの周波数を、**50.240MHzSSB**(A局とする)と他の周波数・モード(例えば、**51.44MHzFM**・・・B局とする)にして、パソコンは、それぞれの**ID**で立ち上げたスカイプを接続すれば、A局が信号を受信すると、スカイプの信号が流れてB局が送信、B局が信号を受信すると、逆の流れでA局が送信、これで、クロスバンドで交信可になります。

無線機は**VOX**運用、**PTT**は**RTS**信号で働かせますが、リモートシャックシステムの方は問題無く、**eQSO**ノード局システムでは、**PTT**は働くものの、音声を送られないので、中間にボリュームを入れた片側マイクコネクタと反対側**3.5φ**の**3**極プラグのケーブルを作り、パソコンのスピーカージャックへインターフェースからのケーブルとパラにつなぎ、マイクコネクタの方は、インターフェースにつながるマイクと差し換えて、**PTT**も働き、音声信号も送れるようになりました。

また、現在私は、A局、B局とは別に**51.44MHzFM**で**Wires**ノード局(C局とする)を立ち上げて運用していますが、A局、B局(**51.44MHzFM**に設定)、C局全てを稼働させておけば、**Wires**の信号がパソコンに入ってきて来るとC局から送信され、それをB局が受信、スカイプの信号が流れてA局から送信されますし、A局が信号を受信すると、逆の流れでB局が送信、受信したC局が、**Wires**に信号を流すので、簡易なクロスバンドレピーターになります。(B局のアンテナは、ダミーロード使用)

私の**Wires**ノードは、普段ほとんど**CQ**ルームに常駐していますが、クロスバンドレピーターをやる時は、**CQ**ルームをディスコネクトし、複数局がコネクトできるように**0616**ルームを立ち上げ、こちらにコネクトすれば使えると思います。

**0616**ルームにコネクトするのは、自局が聞こえる(使える)他のノード局から**DTMF**で、**#0616D**を打つ、コネクトできれば、**144MHz**とか**430MHz**の**FM**モードで、**50.240MHzSSB**の局と交信可能となります(切断は**#9999D**)、**0616**ノード局に直接アクセスできる場合は、**51.44MHzFM**で、**50.240MHzSSB**の局と交信可能です。

他のノード局はほとんどトーンスケルチがかかっているので注意です、アクティブノード局のリストは、バーテックススタンダード社のサイトか、**JS1CYI**局のサイト(携帯電話からの検索に便利)から入手して下さい、**240**のホームページにリンクがあります。